

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

みついし牛 全国最優秀受賞

『第25回全国中核和牛生産者枝肉共励会』が4月8日に東京都で開かれ、河合博文さん（三石歌笛）の出品牛が、去勢の部で最優秀賞を受賞しました。

共励会では、山形県の米沢牛や鹿児島県、鳥取県など著名産地から86頭が出品される中、



移動献血車（献血バス）

ひまわり号

北海道赤十字血液センターの移動献血車ひまわり号（献血バス）が、4月24日に公民館駐車場で献血を行いました。

50人が訪れました。

献血バスでは、密集・密接を防ぐため、時間を区切り、4人ごとに採血するなど、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、献血への協力を呼びかけました。

同センターでは「献血は不要不急の外出にはあたりません。輸血用血液の安定的な確保のため、積極的な協力をお願いしたい」と話しました。

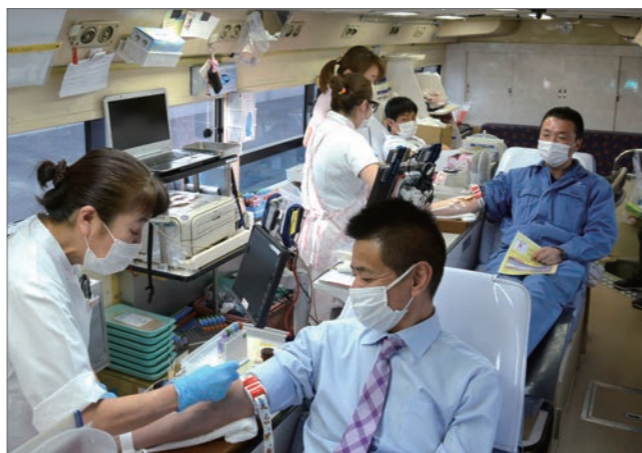


新規就農研修生認証式

修了証授与式

町農業振興対策協議会主催の新規就農対策事業適用研修生認証式・修了証授与式が4月24日に役場静内庁舎で開かれ、就農を目指す3人に大野町長から認証状や修了証が手渡されました。

新たな研修生1人は「将来は家族とともにミニトマト栽培で地域に貢献したい」と意気込みを話し、農家や静内ハウス団地で2年間の研修を終え、修了証を受け取った1組の夫妻は、「経験と継続を大事にしたい」と決意を話しました。



春定置トキシラズの水揚げ始まる

大型定置網漁船による春の定置網漁が4月27日、三石漁港を皮切りに、春立、梟舞漁港で始まりましました。

漁初日のこの日、三石漁港ではトキシラズ7本、サクラマス約1000キ、スケトウダラ1トなどが水揚げされました。

昨年の町内でのトキシラズの水揚げ量は、約

水揚げ始まる

9・1ト、5月中旬の最盛期には、1日だけで5トを超える日もあります。

漁師の方は「新型コロナウイルスの影響で流通が心配。早く食卓に新鮮な魚を届けたい」と話しました。

漁期は7月下旬まで続き、9月上旬からは秋サケ漁が始まります。



4月27日出荷作業の様子

春芽のグリーンアスパラ出荷

みついし農業協同組合花き選果場（三石本桐）で、3月下旬から5月下旬にかけて収穫される春芽アスパラの収穫が最盛期を迎え、出荷作業が行われています。

平成15年から本格出荷を始めた三石地区のグリーンアスパラは、

昨年、生産農家26戸で約14トの収穫量があり、今年も昨年同様の収穫が見込まれています。

春芽の収穫が終わると根を休ませ養分を貯蔵する立茎の期間を挟み、6月上旬から9月中旬にかけて夏芽アスパラの収穫が始まります。

ワイドフアラオ号

かしわ記念制覇

『第32回かしわ記念（JpnI・ダート1600m）』が、5月5日に船橋競馬場で行われ、(有)フジワラファーム（藤原俊哉代表取締役・静内御園）の生産馬ワイドフアラオ号が優勝を果たしました。

ワイドフアラオ号は、後続を寄せ付けずゴ

ルまで悠々逃げ切り、並み居る強豪を退け、JpnI初勝利を飾りました。

藤原さんは「人気馬が多い中、まさか勝つとは思いませんでした。うれしい誤算です。厩舎関係者に感謝しています」と話しました。

